

日本学術会議 課題別委員会
自然災害軽減のための国際協力のあり方検討委員会
国際プログラム連携分科会（第4回） 議事要旨

日時：平成22年9月13日 15時10分～17時

場所：日本学術会議6-B 会議室

出席者：（分科会）竹内委員長，林副委員長，佐竹幹事，是澤委員，春山委員，佐々委員，
寶委員

：（小委員会）朴委員

：（学術会議）瀬高

配布資料

資料1 前回議事要旨（案）

資料2 Forensic Investigations（IRDR，林委員）

資料3 分科会からのインプット（竹内委員長案）

議事

1. 前回議事要旨（案）を確認した．一部修正をして承認することとした．
2. IRDR について
 - ・ Gordon McBean との意見交換会を 10月6日（水）9－12時に学術会議で開催する．なるべく多くの方に参加してほしい．
 - ・ 10月22－24日のジュネーブでの IRDR の会議には，竹内委員長・林副委員長が参加し，日本の貢献を示す．
 - ・ 来年の IRDR workshop について，3月の予定だったが秋以降に延期となった．
 - ・ IRDR について，最近の進捗は，日本・中国・台湾に国内委員会ができ，中国・台湾は各3500万円程度の資金を準備．カナダは5年で1億5千万円で Coastal Cities at Risk という行政との連携プロジェクトを開始する．日本がどのように貢献するか？
3. Forensic Investigation について 林春男委員
 - ・ 科学捜査的手法を使って災害の要因を調べる．災害事例（ケース）の選択，比較（成功と失敗），原因の究明（HFAに基づいて）
 - ・ HFA（5つの優先行動） 制度基盤（防災を優先事項に），リスクと早期警報（マルチハザード），防災文化（教育），リスク要因（マルチセクター，ステークホルダー），事前準備
 - ・ 20の template questions を上の5つに分類してみると，優先行動1に対応するも

- ・ 13 学会への質問についても、20 のテンプレートだけでなく HFA で整理する必要があるそう。災害事例（ケース）についての提案も期待している。
- ・ 課題別委員会として 13 学会へのアンケート、情報収集を準備中である。それに追加するあるいは分科会独自でアンケートを実施する。確実な質問としては、各学会でカバーするハザードの分野、ケーススタディの事例調査の提案など。

- ## 全体へのコメント

- 分科会からの貢献 <国際プログラム連携上の課題>

- 追加すべき項目について議論した。主な意見は以下の通り。

- 2